※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	2	年次	２～４
使用教科書	高等学校 倫理（第一学習社）						
副教材等	アプローチ倫理資料 PLUS（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人間としての在り方生き方について、ギリシャ思想、キリスト教、近代ヨーロッパの思想などの代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして広い視野に立って主体的かつ公正に判断できること。そのなかで「人間の尊厳と生命への畏敬」や「自然と科学技術と人間とのかかわり」について人格形成に寄与する知識として身につけていくことを目指します。
また現代の諸事象について、倫理的視点から主体的に課題を見いだし、自らの思考で探究できる力を持てることが、目標です。もし興味をもった先哲がみつかって、残した著作を手に取って読もうと思ってもらえたら望外の喜びです。

2　学習の到達目標

① 現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。
② 現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。
③ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などにかかわる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付ける。	・生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断できる。	・人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらにかかわる諸課題を探究する態度を身に付け、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	人生における哲学	・神話から哲学へ ・自然哲学の誕生とソフィスト ・真の知への道　ソクラテス ・理想主義的なあり方プラトン ・現実主義的なあり方アリストテレス ・幸福をめぐる問いヘレニズムの思想	a:プラトンやアリストテレスの思想を、人間の徳や幸福という観点から理解させ、認識を深めそれに基づいて自分の考えを話し、文章に書くことができる。 b:ソクラテスの思想を、無知の知や魂への配慮を中心に理解させ、「よく生きること」の意味を考えさせ、その思想を通して、その意味について考え判断することができる。 c:哲学を生み出した古代ギリシャ人の精神活動や世界観を理解させる。関心をもって学ぼうとする意欲・態度をもっている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	人生における宗教	・ユダヤ教 ・イエスの思想 ・世界宗教への展開 ・イスラーム　啓示と戒律の宗教	a:一神教、律法、メシア、アガペー、隣人愛、贖罪、恩寵、教父、カトリック、アッラー、シャリーア、六信五行等の概念について理解し、そうした概念を使って考え、文章を書くことができる。 b:エレミヤ、イエス、パウロ、などの生涯と思想を通して、その意味について考え判断することができる。 c:ユダヤ教、キリスト教、イスラームの一神教における人間の生き方や在り方について、或いは自己自身の生き方や在り方に深く関わるものとして、関心をもって学ぼうとする意欲・態度をもっている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	現代の倫理的課題	・近代とは何か ・合理化と近代科学 ・合理的な考え方と社会の進歩 ・近代社会がもたらしたもの ・近代社会の限界	a:現代の倫理的課題について、多様な観点から、種々の情報資料を収集調査し、問題点や課題の所在を明確化し、まとめることができる。 b:科学・技術、合理化や進化、等々の状況を踏まえて、現代の倫理的課題について考察し、客観的な判断をもつことができる。 c:現代の倫理的課題について、政治や経済、社会、文化的状況を踏まえて関心をもち、考えようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	人間の尊厳	・自己肯定の精神 ・宗教観の転換 ・人間の偉大と限界	a:ルネサンス、宗教改革、モラリストの思想について、基本的な知識理解をもち、それを踏まえて自己自身の考え方を表現し文章にまとめることができる b:ルネサンス、宗教改革、モラリストの思想について、近代の人間観が現在にも有効であることを理解し、現代的な課題について客観的で公正な判断をくだすことができる。 c:ルネサンス、宗教改革、モラリストの思想について、それらが現代に生きる私たちの芸術に興味や関心をもち、探求する意欲や態度をもっている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	自然や科学技術と人間とのかかわり	・自然への目と科学的なものの見方 ・事実と経験の尊重 ・理性の光	a:天動説、地動説、科学革命、イドラ、経験論、方法的懐疑等々について正確な知識と理解をもち、文章を書くことができる。帰納法、演繹法の説明ができる。 b:ガリレイの思想と教会との関係やまたデカルト、ベーコンの思想を通して科学方法論や人間観・世界観の特徴を客観的に考えその意味について適切に判断することができる。 c:近代科学の方法の確立とその発展及び科学の原理的考察に関してデカルトやベーコンの思想に関心をもち、探求する意欲や態度をもっている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)
	自己実現と幸福	・人格の尊重と自由 ・自己実現と自由 ・幸福と功利 ・創造的知性と幸福	a:カント、ヘーゲル、ベンサムやミル、プラグマティズムの思想とその基本的な諸概念について正しく理解し、それについて文章を書くことができる。 b:カントの理性の哲学、ヘーゲルの歴史哲学、功利主義、アメリカのプラグマティズムなどの現在の私たちにも深く関わる思考であることを認識し、その現代的な意味について適切に判断することができる。 c:ヨーロッパの 19～20 世紀の哲学、アメリカ 20 世紀の哲学について、私たちの生活する世界と時代に直接的な繋がりがある思想として関心をもち、探求する意欲と態度をもっている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	授業観察 振り返りシート ノート (プリント)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度